

ごはんとお米とわたし

北いさ早小学校

三年

中道

風花

わたしは朝おきるのがにか手です。そんな

わたしにお父さんが「朝早くおきられたが、

いっしょに家の近くをさん歩しよう。」と言

ました。朝のさん歩が楽しみで、わたしはい

つもより早く目がさめました。

お父さんと二人でさん歩をしたあと家に帰

ると、まだお母さんと妹がねていて、お父さ

んが「いっしょに朝ごはん作るうか。」と言

ました。お父さんに教えてもらいながらわた

しはたきたてのごはんをラッポにのせました。

すぐくあつくて、わたしはラッポの上からハ

ンダタオルをまいておにぎりにぎりました。

おにぎりを一つ作るだけでも時間がかかりま

した。でも、わたしが作ったおにぎりをかそ

くみんなが「おいしー！」とよろこんで食べて

いるのを見て、がんばってよかつたなあと思

いました。

それからわたしは何度も、朝ごはんにかに

ぎりを作りました。食べた後にいっもおい  
しかつたよ。いっありがとう。いっ今日もおい  
とがしばれるよ。いっ言ってもうえるのがうれ  
しかつたです。

わたしも、いっもごはんを作ってくれるか  
母さんに「ありがとう。」が、「おいしかつた。」  
を毎日言おうと思っました。